

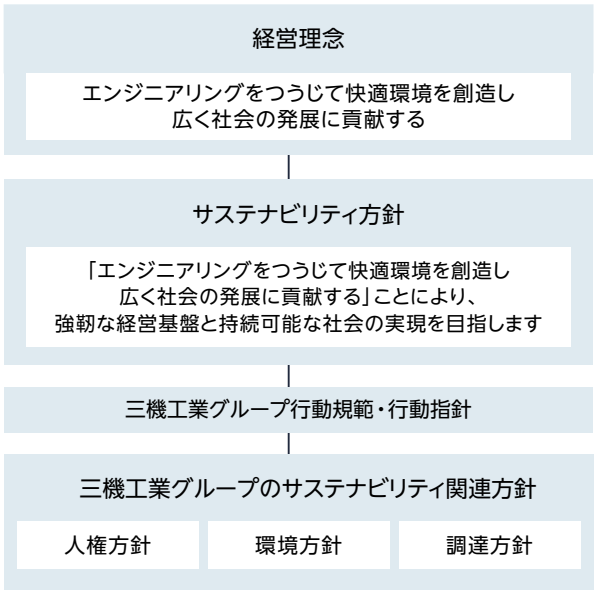
## サステナビリティ経営とマテリアリティ(重要課題)

### サステナビリティ方針

三機工業グループは、サステナビリティ経営を推進し、環境・社会への貢献と収益確保を両立させて、長期にわたり持続可能な発展を続けていくため、経営理念をもとにサステナビリティ方針を定めています。

サステナビリティ経営に取り組むにあたっては、5つのマテリアリティ(重要課題)を特定し、「中期経営計画2027」にて、各施策を立案し、取り組みを進めています。今後もステークホルダーからの要請・期待などを受け止めた上で企業活動に反映させ、社会課題の解決に技術で貢献していきます。

➡ P. 09 三機工業グループのステークホルダー



### 推進体制

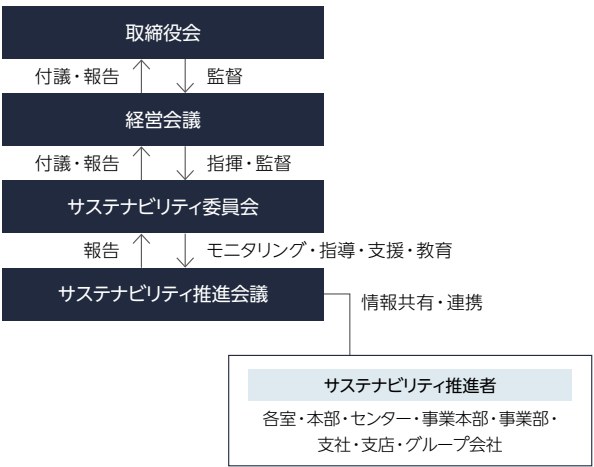
当社グループは、サステナビリティ課題全般について対応するため、代表取締役社長を委員長とし常勤取締役をメンバーとするサステナビリティ委員会を設置しています。

サステナビリティ委員会では、サステナビリティ経営を実現するための重要課題・施策を審議・決定しています。委員会の審議・決定内容については、経営会議、取締役会に報告され、監督を受けています。また、事業・経営戦略への影響が大きい課題については、重

要性に応じて経営会議、取締役会へ付議され、決定・承認されます。2024年度は、カーボンニュートラル移行計画の進捗やサステナビリティ情報開示、マテリアリティの見直しについて議論を行いました。

委員会の下部組織として設けた各部門の実務担当者からなるサステナビリティ推進会議では、委員会の審議・決定事項のグループ全体への周知や具体的なサステナビリティ推進活動の討議・推進や進捗確認を行っています。本推進体制に従い、サプライチェーンを含めたあらゆる事業活動の場においてサステナビリティ課題に対応しています。

#### サステナビリティ推進体制図

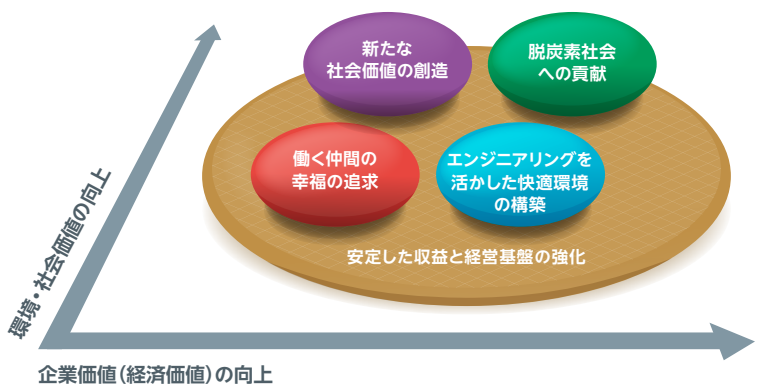


#### サステナビリティ委員会とサステナビリティ推進会議の構成

		サステナビリティ委員会	サステナビリティ推進会議
構成	委員長	代表取締役社長	—
	メンバー	常勤取締役および委員長が指名する者	各部門サステナビリティ推進者
開催頻度	2024年度の開催回数	2回	2回
議題		・カーボンニュートラル移行計画の進捗 ・サステナビリティ情報開示 ・マテリアリティの見直し	・サステナビリティ委員会決定事項 ・サステナビリティ施策の周知 ・マテリアリティ見直しに関する意見収集 ・GHG排出量データの精度向上、削減施策検討

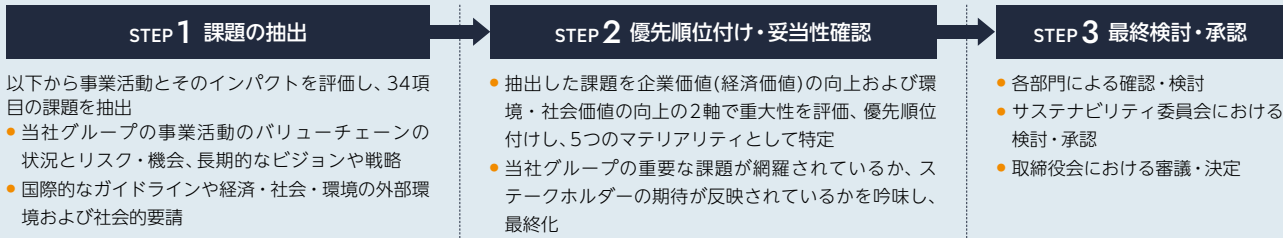
### マテリアリティ(重要課題)の特定

当社グループは、さまざまな視点から抽出した課題を「環境・社会価値の向上」と「企業価値(経済価値)の向上」の両面から評価し、5つのマテリアリティ(重要課題)を特定しています。2024年度には事業環境の変化や社会からの要請を踏まえ、実務との連携を強化するためにマテリアリティの見直しの検討を行いました。今後もこれら5つのマテリアリティに経営資源を重点配分し取り組むことで、強靱な経営基盤と持続可能な社会の実現を目指します。



🌐 マテリアリティ(重要課題) <https://www.sanki.co.jp/sustainability/materiality/>

#### マテリアリティ(重要課題)の特定プロセス



STEP1で参照したガイドライン等  
(組織内) 長期ビジョンや事業戦略、経営計画／役員各部門との意見交換／社内アンケート  
(組織外) ISO26000／SDGs／GRIスタンダード／SASBスタンダード／ESGに関する調査・評価(DJSI等)／統合報告書アンケート／外部有識者、アドバイザーの意見・助言／グローバルリスク報告書

マテリアリティ(重要課題)	取組み		
脱炭素社会への貢献	自社のみならずサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減に取組み、カーボンニュートラルの実現に貢献します。	省エネルギー、創エネルギー提案の推進 脱炭素設備導入・省エネルギー活動による自らの排出量削減 脱炭素技術・製品開発の強化	
働く仲間の幸福の追求	取引先を含む「働く仲間」が職場や仕事で感じる幸福度を高める取組みを推進します。	健康と福祉の支援 多様な価値観の尊重	心理的安全性の確保 多様な人材の育成と活用
エンジニアリングを活かした快適環境の構築	快適な空間や作業環境、環境負荷低減の実現など、多様な「快適環境」を構築します。	快適空間の提供 自動化省人化による生産性向上 環境負荷の低減	
新たな社会価値の創造	社会課題に対して持続可能な解決策を提供し、新たな価値の創造に挑みます。	循環型社会への挑戦 新規事業・市場への進出	イノベーションの促進 地域社会との連携(社会貢献、災害復興支援など)
安定した収益と経営基盤の強化	サステナビリティ経営の基礎となる安定した収益確保とガバナンス、人的資本、財務面における経営基盤の構築・強化を図ります。	事業活動基盤の強化 リスクマネジメントの強化 財務基盤の強化	内部統制の整備 人的資本の強化 ステークホルダーとの信頼関係の構築